

令和5年度 第3回学校運営協議会会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定について、次のとおり報告します。

(令和5年11月6日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 協議会 ・ 2学期の教育活動報告	教務	司会 会長 記録 教頭 日々の学習はもちろん、校外学習や林間学校、修学旅行等の行事を通して、学校教育目標「心豊かに たくましく生きる 児童の育成」を目指し、教育活動を進めている。 特に今学期は、学校と地域が一体となって開かれた学校を推進するために、地域の方々に読み聞かせやミシン学習のボランティアに協力していただいた。また、伝統芸能クラブが竹内神社例大祭に参加してお囃子を披露したり、教職員が担ぎ手として参加したりするなど、地域との関わりを深めている。さらに、音楽発表会や陸上競技大会では、部員たちが日頃の練習の成果を発揮し、自信を深めることができた。
・ 3学期の経営方針提案	校長	[プレゼンテーション用ソフトを使用して説明] 本校の重点目標として、学力向上が挙げられる。今年度の学力学習状況調査や学力テストの結果を分析し、これまでの指導内容や指導方法を検証し、次年度に生かしていく。今年度、単元復習日に布佐中学校の協力を得て、布佐中学生徒に学習支援をお願いして、共に学び合う機会を設けた。児童にとって、中学生から勉強を教わるのはとても新鮮で学習意欲が高まった。今後も続けていきたい。 卒業式に向けて、6年生が「布佐小で良かった」と思えるような教育活動を進めていきたい。日没の早まりに合わせ、下校後の安全指導を徹底すると共に、引き続き、手洗いうがい等の感染症対策を継続し、児童が安全で健康に過ごせるようにしていく。
・ 学校評価について	教頭	引き続き地域の皆様のお力をお借りしながら、学校目標の実現に向けて、教育活動の充実に努める。 本校の教育活動や学校運営に関して、継続的に改善を図るため、学校評価を実施する。小中一貫教育の推進については、布佐中区共通の質問項目となっている。さらに、具体的な実施内容を明示し、評価の判断材料とした。今年度もWeb上での回答をお願いする。

・協議	委員	学習参観で、辞書を実際にひいたり、ハサミを伝って工作したりする場面を見て、体験活動の大切さを感じた。
	委員	高学年の算数では、「概数」という難しい内容を扱っていた。学習内容が難しくなると、一度では理解できないことも多い。何度も同じことを繰り返し、想起場面を設けることで定着が図れるのではと感じた。
	委員	教室が整理整頓されていて、掲示物も大変見やすい。環境は大切。全体として、先生方が子供たちに対して、丁寧にあたたかく接しているのが印象的だった。
	委員	教育活動で説明のあった「リサイクル学習」は、今後の社会にも重要なテーマで続けてほしい。続けることでその考え方が浸透し、定着する。
	委員	全体として、子供たちが落ち着いて学習できている。安心して学習していると感じる。
	委員	単学級、少人数での学習の中で、どのように学び合いを深めていくかを考えていく必要がある。
	委員	掲示物や設備などの環境が子供たちに与える影響は大きい。安心して学習に打ち込めるように整え続けてほしい。
	委員	地域との関わりを大切にされた教育活動は、素晴らしい取り組み。地域の方々にもっと知ってもらい、参加してほしい。
	会長	今後も布佐カリキュラムの一環として、地域の方を招いての学習が行われる予定と伺っている。さらに、地域人材を活用して、教育活動に生かしてほしい。
	2. 連絡	教務
	教頭	教育ミニ集会の実施計画について
3. 今後の予定	教頭	第4回運営協議会 3月6日(水) 布佐中学校 15:00～16:30

傍聴人 0人(発言者数0人)